

今後の検討課題について

- 今後の民間建築物のアスベスト実態調査等を着実に進めるため、実態調査の進捗状況や建築物石綿含有建材調査者の育成状況を踏まえながら、対策の実効性をより高め、3年程度後の状況を踏まえ課題等を整理することを目的とし、引き続き、ワーキンググループでこれまでの検討内容の検証及び必要な改善策等の検討を行うことが必要である。